

広報

# りくぜんたかた

2026  
No.1209

4

特集

## 令和8年度 START

施政方針・教育行政方針・  
組織体制・予算

北限のゆずを楽しむ会2026  
※関連ページ(P17)



SDGs GOAL 11	住み続けられるまちづくりを
SDGs GOAL 15	陸の豊かさを守ろう



陸前高田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# 施政方針

令和8年市議会第1回定例会（3月定例会）は、2月19日（木）から3月17日（火）まで開かれ、初日に佐々木市長が施政方針を述べました。



本日ここに、令和8年第1回市議会定例会が開催されるに当たり、今後の市政運営並びに令和8年度の主要施策について、所信の一端を申し上げます。

はじめに、まもなく東日本大震災から15年を迎えようとしております。未曾有の被害を受けた本市及び市民の皆様は、多くの皆様のご支援を頂きながら、多くの苦難を乗り越え、復興に取り組んでまいりました。これまでご支援して頂いた皆様、市民の皆様、そして市職員各位に対し、感謝を申し上げます。

震災により、かけがえのないご家族やご親族、大切な友人や知人を亡くされた方々の思いは、長い年月が経とうとも、少しも変わることがないと思います。

一方で、15年の歳月を経た今、本市を含む被災地を取り巻く状況は、一つの節目を迎えております。復興事業によるインフラや施設の整備は終了し、国が定めた第2期復興創生期間が間もなく終了します。そうした中、一昨年は、能登地方を大地震、さらには豪雨災害が襲いました。そ

して昨年は、大船渡市における規模な林野火災が、15年前の被災地に再び大きな被害をもたらしました。近年、我が国では、災害が頻発し、そして激甚化しております。

多くの皆様の支援により、ここまですべて復興した本市は、自らが、さらなる復興に取り組むとともに、能登、大船渡市などの他の被災地への支援にも積極的に取り組むことが重要であります。私たちが復興の過程で、経験したこと、学んだことを元に、他の被災地に対し、復興や防災面を中心に、可能な支援を行うとともに、今後、私達が、心の復興や、生業、経済の再生などに一層取り組み、真に復興した街となることによつて、他の被災地の皆様に、少しでも多くの希望を届けることが大切だと思います。

震災から15年という節目を迎える本年は、これまで本市の復興にご支援を頂いた企業、団体などの皆様に、改めて感謝の気持ちを伝えする式典を開催したいと考えております。また、本年は、陸前高田市が誕生してから70年と少しの月日が経ちま

した。昨年は、お祝いの行事を行う状況ではないと判断し、式典等の開催は見送りました。本年は、震災より以前の年月も含め、70年という県内の自治体の中では非常に長い期間、8つの町や村が一緒になって、本市の自然、伝統文化、産業、そして、人材を大切にしながら発展してきたことに改めて思いを致し、さらなる市勢の発展のための契機となるような式典も開催することとしております。

近年、私たちの周りでは、人口減少、少子高齢化、消滅可能性自治体といった特に地方の危機感が強調される場面が多くなりました。時には「都会の人間、若者や女性に選ばれた街になろう」という趣旨の政策も掲げられております。

本市で政策アドバイザーをお願いしている1人に藻谷浩介さんという方がおられます。

人口減少などを背景に、都会が地方を下に見るような印象のある風潮に対し、日本より人口密度の低い国であっても、文化や自然の豊かさを大切にしながら、生き生きと暮らす国や地域を紹介してくれます。私たちの友好都市のクレスントシティ市は、人口や人口密度が本市より少ないですが、将来を悲観的に考えている方に会ったことはあるでしょうか。高田高校の高校生が、クレスントシティ市との交流により、アメリ

カ人のポジティブな考え、生き方にどんどん触れて欲しいと思います。

こうした特に「地方」として厳しいと言われている中であつて、本市ではこれから、将来の発展に向けた新たな取組を始めることとしております。中心となる「舞台」は、私達に大きな災いをもたらした「海」です。一つのきっかけは、世界的な水産関係企業であるニッスイが本市において事業を開始したことにあります。この事業のベースとなるのはノルウェーなど欧米諸国の先端技術です。ノルウェーの海洋関係の事業は、生産技術だけではなく、労働の環境、服装、社会的な重要性、収入において、とても魅力的です。そして国の基幹産業であります。

これから取り組むのは、本市を含む三陸の沿岸地域を先端技術によって新たな海洋先端産業の創出の場にする事です。ある東京の国立大学の附属研究所、大学院などと、様々な分野、水産、農林、環境、IT、医療などの関連企業との「産学連携拠点」を、本市に構築するためのソフト予算を新年度予算に計上しております。この取組のヒントを与えてくれたのは、ニッスイだけではなく、本市にある、「魚の内臓から医薬品を作る企業・バイオケム」「海洋環境に優しいバイオマスプラスチックの先端技術を持つ企業・三共化成」「藻類によって海洋環境を保全する技術を研究している企業・理研食品」「古い水産缶詰の常識を覆し、イタリヤ料理などに合いそうな缶詰で、本市のふるさと納税を牽引している企業・タイム缶詰」です。さらには、これまで省人省力のための技術開発がほとんど進んでいない日本の沿岸漁業において、生産現

場で働きながら、省人省力化の機械を開発し続けている若き発明家が本市にいらつても、大学や企業の関係者の関心を引いたと思えます。

併せて、昨年、本市と包括連携協定を締結した中央大学においても、本市の農業などの生産現場と連携した教育、研究に取り組むとともに、さらに広い分野での連携を検討していくことになっております。私としては、本市の将来にとって、非常に魅力的なパートナーを見つけた思いであります。私の選挙公約に関連し、大学の建物を建てないのか、とか、空地を解消するための取組ではないのかという、貴重な意見、細かい意見を頂くことがありますが、私としては、大切なことは、これから本市において活動を行う大学の学生、教職員の方々を、市を挙げて歓迎するよきな雰囲気を作っていくことだと思います。

地方がしばしばいくという悪夢ばかりを思うのではなく、産業的には、半導体や自動車産業が注目されている岩手県の内陸地方に比べ、あまり注目されることのなかった三陸沿岸地域において新たな産業を創出するため、日本のトップの企業、大学などと連携して取り組んでまいります。

復興の先、将来を見据えた場合、本市にとりまして重要な課題は、教育と医療でありま

す。今般、国政においては、高市総理大臣が選挙において国民の多くの信任を得ました。選挙中の演説において、高市総理は、「全国47都道府県どこに住んでも安全に生活することが出来る。必要な医療や福祉はちゃんと受けることが出来る。質の高い教育を受ける

ことが出来る。そういう国を作っていくたい」と述べていました。そうした中で、岩手県におきましては、今月、県立高校の再編計画の最終案が公表されました。これまで、私達が住んでいる気仙地区においても、調理師を目指す生徒、地場産業である水産業や、大好きな海のことを学びたい生徒が気仙地区の高校で学んでおりました。「少子化が進み、生徒の数が少なくなった。」「調理や水産を教室で教える先生が足りなくなった。」という理由で、地域産業の将来を担う生徒達の勉強する場が、私たちの街からなくなるかもしれません。

一方で、いくつかの報道を見ますと、県民の方々からも、生徒が今後も減っていくのだからやむを得ない。市町村長や、地域の人間は、自分の都合ばかり主張するのではなく、もっと県全体の状況を考えるべきだという、県が示した方向性を支持する意見も見受けられました。私は、現代の様々な技術や工夫、そして地域が一体となって支援していくことにより、地域の学びの場を残すことは可能であり、また、必要なことだと思います。どこに住んでも、質の高い教育を受けることが出来る国であつて欲しい。」と、心から思っています。

県立高校に関しましては、高田高校がクレスントシティ市と交流し、魅力ある活動をしていること、また、昨年は、日本で最も優れた国際分野の教育を行っていると言われる国際教養大学の特段の配慮によりイングリッシュビレッジというカリキュラムを、高田高校や市内の中学校の生徒が体験し、生徒やご家族、そして教員の方々から非常に高い評価を





得たことなども踏まえ、高田高校に新たに国際関係の学科を設置し、魅力を向上させることにも引き続き取り組んでまいりたいと思います。

さらに、県に対しましては、気仙地区の高校に医学部進学コースを設置して欲しいとの要望も行ってまいります。47都道府県の中で、国公立や公的な医学部が存在しないのは岩手県だけです。県土の広い岩手県にあって医師は盛岡などに偏在しております。こうした中、新年度から、盛岡一高に医系コースが設置されます。このままでは、気仙地区における医師の不足が今後ますます進むのではないかと心配しております。本市を含む気仙地区に、医師として看護師などといった命を守る人材を、将来にわたって、私達の地域から輩出するためには、どうしてもこうした取組が必要であると考えております。

なお、このことは、岩手県の医師養成機関の関係者からも応援する旨の意見を頂いており、決して「突拍子もない願い」ではないと考えております。

以上のように、地域にとって非常に大切な地元の県立高校の存続、魅力向上、特色化に向けては、本市といたしましても、県当局と、これまで以上に、緊密に連携しながら、県の事情にも精通した体制で協議などに臨むことも検討すべきであると考えております。

次に、新年度の予算編成について、その概要を申し上げます。

令和8年度の予算編成におきましては、第2期復興創生期間が間もなく終了し、復興事業が新たな段階に入ることを踏まえ、これまで、国などの支援を受けて行ってきた事業にも連携し、国や県への働きかけを粘り強く行ってきたところであります。

こうした中、本年1月、笹ノ田峠付近において、死亡事故が発生しました。改めて市民の命を守るために、早期の事業開始が必要であるとの思いを強くしたところであります。今後、さらに強く国や県に要請を行ってまいります。

水道事業につきましては、健全で安定的な事業経営を維持するため、水道料金改定の検討に着手いたします。

また、水道未普及地域につきましては、個人や地域で管理する給水施設の整備補助に加え、水質検査や水源調査に係る新たな補助制度を創設いたします。

下水道事業につきましては、将来的な広域化や水道事業との連携を見据え、官民連携方式であるウォーターPPPの導入調査、経理業務の外部委託を実施し、更なる効率的な経営と財政の健全化を図るため下水道使用料の改定に取り組んでまいります。

防災につきましては、東日本大震災で甚大な被害を受けた本市が、全国に先駆けながら、先進的、かつ、市民とより密接に連携した施策を講ずることが重要な分野であります。

指定避難所において、災害時に通信網が遮断された際でも確実に情報をやり取りできるように、新たに可搬型衛星通信機器を順次整備するとともに、冷暖房機器の配備を進めてまいります。

また、指定緊急避難場所である本丸公園において、暑さ・寒さ対策として、テント等の備品を整備いたします。

消防につきましては、令和8年4月から運

ついでには、出来るだけ市の単独財源などを活用して実施した上で、今後、市民の皆様や議員の皆様の見解も丁寧に向いながら、その廃止や縮小等について、将来的な財政負担を十分に考慮しながら、慎重に検討したいと思っております。

新年度の一般会計予算につきましては、まちづくり総合計画などに基つき、経済、人材、暮らし、安全の各分野を横断的に、事業効果を重視した重点投資を行うこととし、対前年度比で4.4パーセント増の179億2,500万円、3つの特別会計を合わせた全会計の予算総額は、対前年度比4.9パーセント増の約233億4,409万円としたところであります。

次に、新たな事業、施策について、主なものを申し上げます。

はじめに、子育て支援についてであります。本議会におきましても、保育料の完全無償化を実施すべきとの意見が複数の議員より出されました。こうしたことを踏まえ、本市においても新年度から保育の完全無償化が出来るいかにについて、検討しました。結果として、新年度から完全無償化を実施するために必要な保育士を確保することが困難であることがわかりました。このため、保育料完全無償化に代わる措置として、保育所等を利用せずに在宅で育児をしている保護者に対し、新たに子育て応援在宅育児支援金、月額2万円を、県の事業とも連動しながら、支給することとしました。

なお、令和9年度におきましては、想定される児童数や保育士の人数を検証したところ、保育料完全無償化を実施することが可能用を開始するいわて消防指令センターに職員を派遣するなど、広域的な情報共有と部隊運用の円滑化を図り、災害対応能力を一層向上させてまいります。

地域防災の要である消防団につきましては、令和8年4月から機能別消防団員制度を導入し、団員の確保と体制強化に努めることにも、消防屯所の計画的な整備も進めてまいります。

また、国の復興財源により、県が実施していた生活支援相談員事業が令和7年度で終了する見込みであります。こうした中、市政懇談会などにおいて、この事業の継続を求める意見が強く出されていることから、国の孤立・孤立対策推進交付金を活用し、支援が必要な方々を個別に訪問し、相談や支援を行う事業を新たに実施いたします。

併せて、災害公営住宅において、これまでの復興財源により、県が、自治会運営を支援してきた被災者支援コーディネート事業につきましても、自治会が抱えている担い手不足等の現状を踏まえ、市独自のコミュニティ支援事業を実施してまいります。

農林水産業及び関連産業の振興につきましては、これまで、農事組合法人、りんご生産者、産直関係者、林業関係者、漁業協同組合などと個別に意見交換を行い、経営改善等について、関係者が望む効果的な取組が出来ないか、検討を行っているところであり、一部では新たな取組も行っております。こうした取組に当たっては、国、県や市の事業に当てはめるだけでは解決出来ないと思われることも多いことから、関係者の意見を丁寧に聞き取りながら、引き続き対応してまいります。

と見込まれました。

こうしたことから、今後の児童数や保育士の確保状況にも注視しながら、令和9年度からの保育料完全無償化に向けて検討を進めたいと思っております。

また、このことも関連し、保育士の人材確保が非常に重要であることから、新年度より、市内の保育所等に就職した保育士の奨学金の返済を支援する制度も併せて新設いたします。

さらに、新たに乳児を預かり、母親が休息できるデイサービス型の産後ケア事業を開始し、母親の心身の健康を守る体制を強化いたします。

併せて、子育て支援につきましては、子育て世代の代表者からなる検討会の意見を踏まえ、本年3月末に、広田地区に児童用の複合型遊具を設置することとしております。

なお、本年1月からは、「夢アリーナたかた」に屋内遊具を設置しているところであります。

次に、市内道路等の整備につきましては、入学や進級を迎える子どもたちの通学路について、小友町の柳沢和方線など、交通安全点検により改善が必要とされた路線を計画的に整備し、児童生徒の安全を最優先に取り組んでまいります。

さらに、令和8年度からは、市道の維持管理を市内の建設業者に包括的に委託する方式を新たに導入し、安定的な業務量の確保と現場対応の効率化を図り、住民サービスの向上を図ってまいります。

長年の懸案になっております新笹ノ田トンネルの早期事業化につきましては、一関市との連携を強化しながら、大規模園芸施設の誘致に取り組んでおりますが、多額の財政負担も伴う事業であることから、雇用の創出のみならず、市内関係者等の新たな事業となるよう努めながら検討を進めてまいります。

行政サービスの提供につきましては、政策形成能力向上のための研修に加え、令和7年度は、若手職員を市内の農業、漁業、福祉施設等の現場に派遣し、その仕事を体験する研修も行ったところであり、受け入れた事業者や、職員からも非常に前向きな評価を頂いたことから、今後も実施する方向で検討し、サービスの向上に努めてまいります。

また、全国から本市に職員を派遣して頂いていた事業が、令和7年度をもって終了します。改めて派遣自治体等や派遣されていた職員の皆様に感謝を申し上げます。今後は、職員体制を創意工夫し、限られた予算と人員で持続可能な行政サービスを提供できる強い組織づくりに取り組んでまいります。このことに関連し、平成31年度から導入しております行政事務の包括業務委託につきましては、業務の効率化や経費の削減と併せて、働き方改革や、より働きやすい職場作りの観点からも、その成果や課題等についての検証を行うこととしたいと思います。

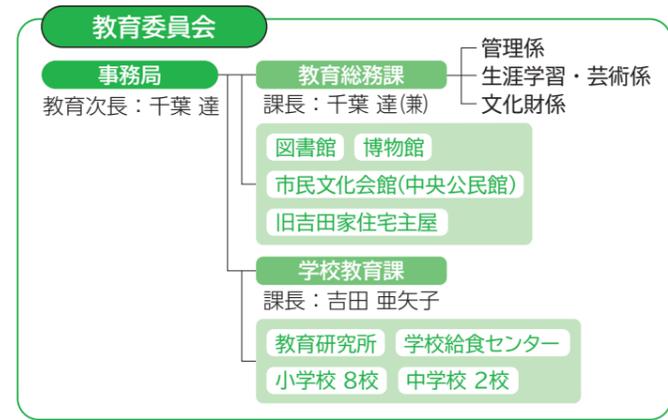
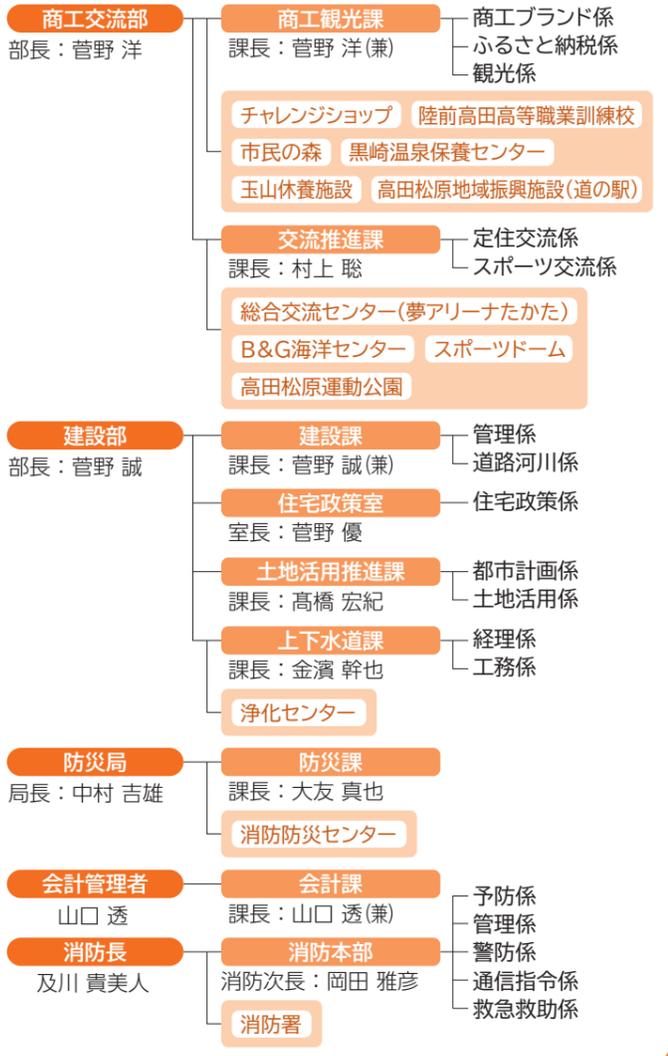
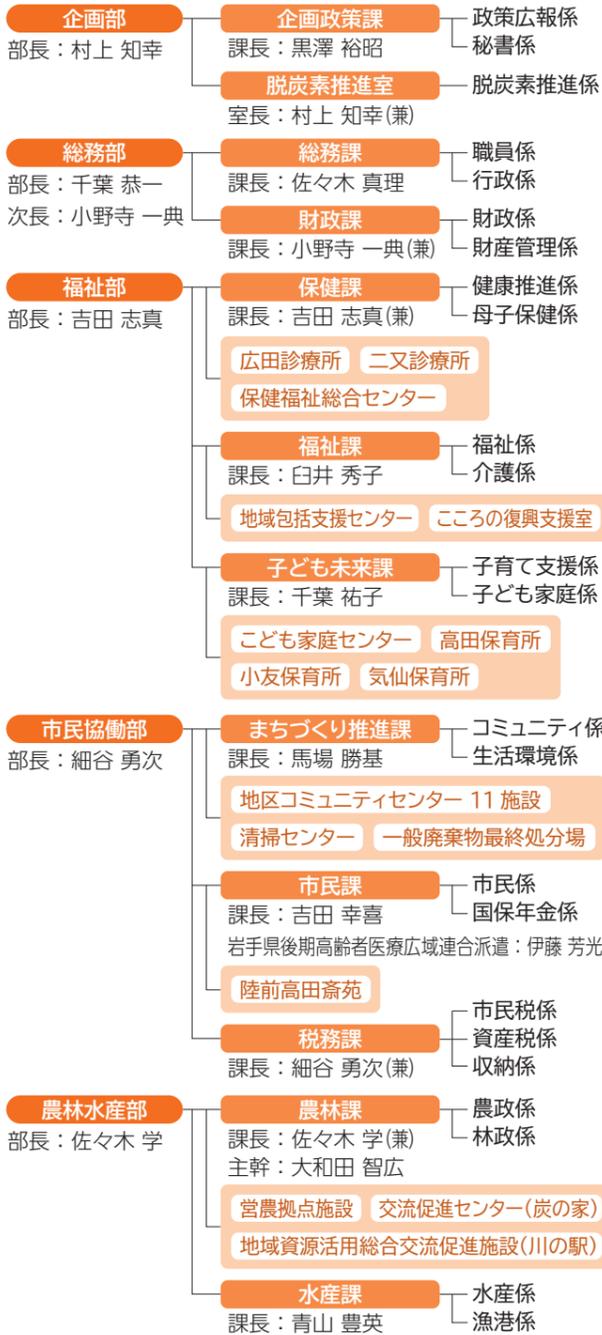
以上、市政運営における所信の一端と新年度当初予算の主要施策の概要について申し上げます。

議員各位のご賛同とともに、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4月1日からの市の組織体制を以下のとおりお知らせします。

議会 事務局 局長：熊谷 重昭

市長部局



- 選挙管理委員会 事務局 局長：千葉 恭一(兼)
- 監査委員 事務局 局長：阿部 景子
- 農業委員会 事務局 局長：菅野 泰浩(兼 市長部局参事)
- 固定資産評価審査委員会

市民課と税務課の受付窓口を一本化しています

市民課および税務課に関する窓口を一本化し、市民課の窓口で受付を行っています。税に関する証明書の申請、納付相談など、税務課へのご用件で来庁した場合も、まずは市民課の窓口にお越しください。市民課窓口にてご用件を伺い、申請方法や担当などをご案内します。

問い合わせ先 市役所市民課市民係(内線133・134)

問い合わせ先 市役所総務課職員係(内線 311)



教育行政方針

学びを通じ、未来を創造する、心豊かでたくましい人づくり



全文はこちらから

1 自ら考え、判断し、たくましく生き抜いていく力の育成

学力向上に向けては「子どもを主語にした授業改善」を掲げ、「主体的・対話的で深い学び」を通して、思考力や表現力の定着を図ります。また、ICT端末の効果的な活用やオンライン学習による指導の充実を進めるとともに、中学校部活動の地域連携・地域展開を推進し、地域の中における新たな活動の場の創出や環境整備に力を入れていきます。防災教育については、15年間の歩みを地域の財産として次世代へ確実に引き継ぐための系統的な指導を推進してまいります。

2 一人ひとりを大切にしながら学校教育の推進

増加傾向にある不登校への対応を重点課題とし、中

3 行政、学校、家庭、地域が一体となった教育の推進

学校への「校内教育支援センター」設置や、家庭や地域に出向いて学習支援を行う「アウトリーチ型支援を強化し、多様なニーズに多面的に対応してまいります。キャリア教育では、新たに小学校6年生を対象とした「生き方講座」を実施して「人生設計力」を養うほか、国際交流研修の拡充を通じて異文化理解と学習意欲の向上に努めてまいります。

5 生涯学習を通じた地域共生社会の実現

令和7年度から生涯学習施策を教育委員会に集約し実施していることから、社会教育と学校教育が一体となった施策を推進します。芸術文化活動の推進や郷土芸能の活性化、情報拠点施設としての図

4 安全・安心な教育環境の整備

ながら子育て支援に取り組んでまいります。

6 価値ある歴史・伝統・文化の充実と次世代への継承

文化財基礎調査の結果を活用し、地域の特色を生かした「文化財保存活用地域計画」の策定に向けた具体的検討を進めてまいります。また、日本遺産の重点支援地域に認定された「みちのくGOLD浪漫」や、復旧が完了した旧吉田家住宅を軸に、国内外への情報発信と文化観光を強化します。また、空き校舎などを活用した美術品展示施設の整備検討を進め、郷土ゆかりの芸術作品を地域活性化の一助として活用するため、よりよい施設づくりを展開してまいります。

## 主な新規事業などの内容

「陸前高田市まちづくり総合計画」で掲げる基本目標ごとに、事業をご紹介します。

### ともに支え、健康に暮らすまちづくり

#### ● 共生のまちづくりを推進

孤独・孤立などの問題を抱える世帯を支援するための委託料

400万円

### 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり

#### ● 交流人口の拡大

本市と連携協定を締結している大学の教授などに対し、本市に滞在して行う研究活動費を助成

300万円

### 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり

#### ● コミュニティ活動の支援

矢作地区コミュニティセンターの新築に係る工事費

3億316万円

### 市民にわかりやすく健全な行財政運営

#### ● 利便性の高い行政サービスの提供

書かない窓口システムの導入に係る委託料

746万円



### 子どもたちを健やかに育むまちづくり

#### ● 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

- ・在宅で3歳未満の児童を養育している保護者に対し、支援金を給付 526万円
- ・市内保育施設に勤務する保育士に対し、奨学金返還に要する経費を補助 72万円

### 快適に気持ちよく暮らすまちづくり

#### ● 生活道路・交通環境の整備

市道などの維持を包括管理するための委託料 1億8,151万円

#### ● 水道水の安定供給と適切な下水処理の推進

未給水地域の水源の水質検査を行うための経費 100万円

### 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

#### ● 防災意識の向上、防災・減災体制の整備

- ・土砂災害・洪水に係るハザードマップ作成委託料 996万円
- ・電気自動車および充電設備の設置に要する費用への補助 100万円

#### お知らせ

市の財政状況は、市ホームページで公開しています。



## 予算

一般会計 **179億2,500万円**  
対前年度比 4.4%増

令和8年度の一般・特別・企業会計の各予算が市議会で可決されました。

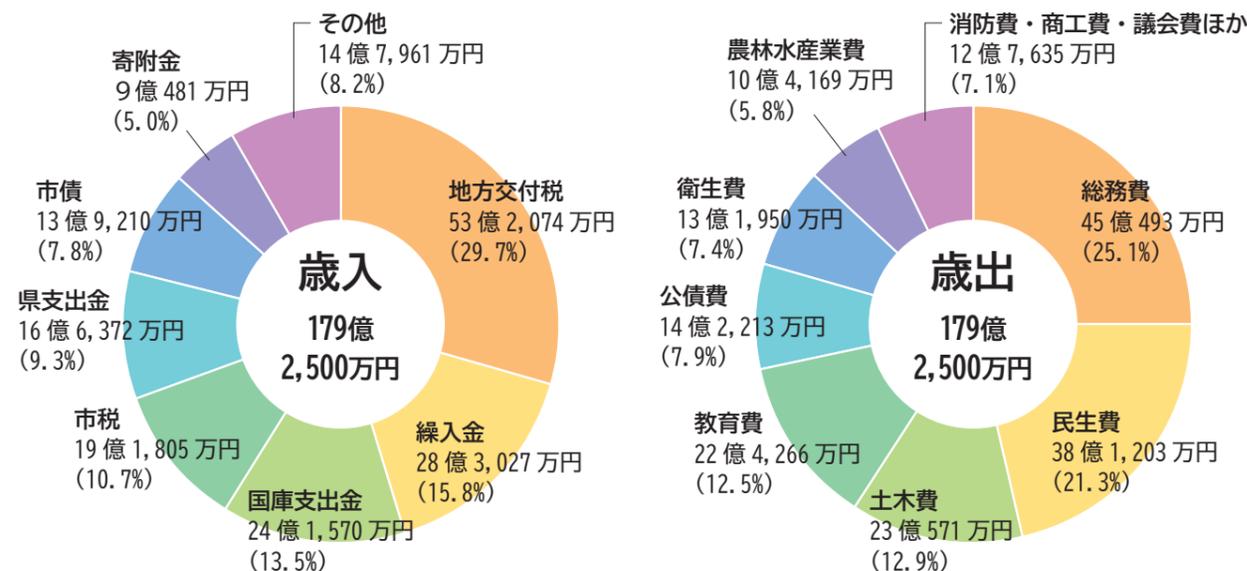
一般会計179億2,500万円、特別会計54億1,909万円、総額233億4,409万円を計上しました。

東日本大震災から15年を迎えたことから、震災の教訓と経験を次代へ継承し、復興の成果を礎として持続可能な地域経営を進めるとともに、各種事業を通じて、市民の絆と誇りを高め、未来志向のまちづくりに向けた予算となります。

また、市民生活の向上と持続可能でしなやかな地域づくりに向けた主要な取り組みとして、「陸前高田市まちづくり総合計画」に基づき、経済・人材・暮らし・安全の各分野を重点的に推進します。

### 一般会計

対前年度比 4.4% ( ) は構成比です。



### 特別・企業会計

会計名		予算額	前年度当初比
特別会計	国民健康保険 事業勘定	20億7,037万円	-1.6%
	国民健康保険 診療施設勘定	5億2,805万円	+158.2%
	後期高齢者医療	3億3,642万円	+11.2%
	介護保険 保険事業勘定	24億6,358万円	+0.7%
	介護保険 介護サービス事業勘定	2,067万円	-13.0%
合計		54億1,909万円	+6.6%
企業会計	水道事業 収益的収入	6億358万円	-5.7%
	水道事業 収益的支出	5億8,560万円	-8.4%
	水道事業 資本的収入	2億8,893万円	-56.0%
	水道事業 資本的支出	4億8,561万円	-46.5%
	下水道事業 収益的収入	10億1,285万円	-5.4%
	下水道事業 収益的支出	8億1,119万円	+3.1%
下水道事業 資本的収入	2億3,123万円	+66.3%	
下水道事業 資本的支出	5億6,635万円	+11.7%	

※文中および表内にて、単位金額以下を端数調整しています。

問い合わせ先 市役所財政課財政係(内線324)

## 震災から15年

### 支え合い 助け合い 笑顔あふれるまちへ



東日本大震災の発生から15年目を迎えた令和8年3月11日(水)、奇跡の一本松ホールで追悼式が執り行われました。

平成23年の震災では、本市において1560人が犠牲となり、今なお201人の行方が分かっていません。式典には遺族や来賓など約190人が参列し、震災発生時刻の午後2時46分に合わせて黙祷を捧げました。

追悼式で佐々木市長は「東日本大震災から15年の歳月が流れました。幾年の歳月を経ても、最愛の家族を突然失われた遺族の皆様への深い悲しみが、癒えることは決してありません。志半ばで犠牲となられた方々を思い、また、最愛の家族や親族、友人を失われた方々のお気持ちに思いを致すとき、今なお哀惜の念に

堪えません。震災から15年が経過し、国の第2期復興・創生期間が終了し、復興事業は、心のケアや地域コミュニティへの支援などを中心とした、新たな段階を迎えることとなります。復興に関する国の制度が変わりましても、市民の皆様が誰一人として、取り残すことのないよう、今後も真の復興に向け取り組んでまいります」と式辞を述べました。



市内の各施設では、犠牲になられた人への哀悼の祈りが捧げられていました

## 旧吉田家住宅主屋



旧吉田家住宅主屋の正門前広場では、気仙町の子どもたちや来館者が作った紙灯ろうやキャンドルホルダーが点灯されました。会場には地域住民が集まり、温かな光に包まれながら交流を深めていました。



祈念公園を彩ったのは、地域の子どもたちや様々な世代の方々が作った紙袋ランタン。そこに込められた「感謝」や「復興」への想いは、人々のつながりを深め、未来を優しく照らしていました。



## 高田松原津波復興祈念公園

## 川原川公園



川原川公園では、「つむぐイルミネーション2026」が行われました。本活動は、前身の「高田に輝の花を咲かせよう」から数えて、通算13回目。会場では、イルミネーションに加え、ゴスペルの献歌やトランペットの演奏などが披露され、大人から子どもまで多くの人が集まり、心温まる空間となりました。



## 防災行政無線子局に回転灯を取り付けました

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

市では、放送が聞きづらい人にも、放送中であることをお知らせするために、市内すべての防災行政無線子局に回転灯を取り付けました。

回転灯は、防災行政無線の放送中に回転しながら赤く光ります。



丸枠の箇所に回転灯を取り付けています

### 防災行政無線の放送内容を電話やメールで確認できます

防災行政無線の放送が聞き取れなかったときや内容を確認したいとき、外出先で聞き逃したときには、ぜひ本サービスをご活用ください。また、市ホームページや公式SNS (LINE、X、Facebook) でも、放送内容を配信しています。

#### 電話応答サービス (通話料無料)

次の番号に電話をかけることで、防災行政無線で放送した内容を確認できます。

☎ 0120-273-256

#### メール配信サービス (利用料無料)

メールアドレスを登録することで、携帯電話やパソコンで防災行政無線の放送内容を受信できます。

##### 登録方法① 二次元コードから登録

①二次元コードを読み取ります。



②「雨量情報・防災無線情報の受信を希望する方はこちら」を選択し、作成されたメールを送信してください。

③登録完了のメールが受信できれば、登録完了となります。

##### 登録方法② 二次元コードを利用できない場合

①次のメールアドレス宛に新規メール(件名に「ALL」と入力)を作成し、送信してください。

メールアドレス：d-touroku@rt.city.rikuzentakata.iwate.jp

②登録完了のメールが受信できれば、登録完了となります。

※受信拒否設定をしている人は、次のメールアドレスからのメールを受信できるように設定してください。

メールアドレス：d-mail@rt.city.rikuzentakata.iwate.jp

登録サイトURL：http://www.dosha.city.rikuzentakata.iwate.jp/mobile/regist/public\_access.html

問い合わせ先 市役所防災課(内線702)

## マイナンバーカードの電子証明書更新についてのご案内

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

### マイナンバーカードに係る有効期限について

マイナンバーカードに係る有効期限は次の2種類があり、更新時期が近い人には、有効期限の2～3カ月前を目途に有効期限通知書(封書)が送付されるので、更新手続きをお願いします。

更新対象	有効期限	備考
カード本体	カード発行から10回目の誕生日まで	18歳未満は5回目の誕生日まで
電子証明書	カード発行から5回目の誕生日まで	

※電子証明書とは各種サービスの利用にあたり、本人であることを電子的に証明するものです。電子証明書には、署名用電子証明書と利用者証明用電子証明書の2種類があります。

電子証明書の種類	対象となるサービスの例	暗証番号
署名用電子証明書	e-Tax、給付金の申請といった、行政サービスのオンライン申請など	英数字混合の6～16桁の暗証番号
利用者証明用電子証明書	マイナポータルへのログイン、コンビニ等に設置しているキオスク端末からの証明書の取得など	数字のみの4桁の暗証番号

### 更新手続きについて

電子証明書の有効期限通知書が届いた人は、更新手続きを行う必要があります。

更新手続きは、市役所市民課のほか、矢作郵便局および広田郵便局でも受け付けていますので、お近くにお住いの人はご利用ください。



有効期限通知

手続受付場所	受け付けできる手続き	受付時間
市役所市民課	マイナンバーカード関連のすべての手続き	月曜日から金曜日までの午前9時から午後4時30分まで
矢作郵便局	・電子証明書の発行・更新 ・暗証番号の初期化(再設定)	月曜日から金曜日までの午前9時から午後4時まで ※矢作郵便局は、午後0時30分～午後1時30分まで、昼時間帯の業務休止のため受け付けできません。
広田郵便局		

※国民の祝日に関する法律に定める休日および12月29日～1月3日を除く。

※郵便局では本人申請のみ受付可能です。代理人による手続きは受け付けできません。

### 注意事項

- ・マイナンバーカードを忘れずにお持ちください(有効期限通知書も併せてお持ちください)。
- ・更新には暗証番号が必要です(忘れた場合は、手続受付場所で再設定できます)。
- ・お手続きには20分程度かかります。
- ・15歳未満または成年被後見人による申請の場合は、同居の親または法定代理人の同行が必要です。
  - ※同居の親以外が同行する場合、本人のマイナンバーカードに加え、以下の書類が必要です。
    - ・戸籍謄本、登記事項証明書などの法定代理人であることを証明する書類
    - ・法定代理人の顔写真付きの本人確認書類



問い合わせ先 市役所市民課市民係(内線134)



## ● 名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートを開催します

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに

本市の友好都市である名古屋市のご協力のもと、名古屋フィルハーモニー交響楽団金管五重奏コンサートを開催します。

日時：5月24日(日) 開演：午後2時(開場：午後1時30分)

場所：奇跡の一本松ホール

主催：公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団、名古屋市、陸前高田市

チケット：全席指定 前売券(税込)… 一般2,000円、高校生以下1,000円  
当日券(税込)… 一般2,500円、高校生以下1,500円  
※未就学児の入場はご遠慮願います。

販売開始：4月25日(土) 午前9時

販売場所：奇跡の一本松ホール

☎0192(22)9666 (午前9時～午後5時、第3火曜日休館)

詳細は  
こちら



## 問い合わせ先

奇跡の一本松ホール

☎0192(22)9666



## ● 子育て応援在宅育児支援金を支給します

SDGs GOAL 3 すべての人に健康と福祉を

市では、ふるさと納税を活用して、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるため、保育所などを利用せずに在宅で育児を行っている保護者に対して支援金を支給します。

申請方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

## 対象者(①～③の全てに該当する人)

- ①市内に住所を有し、児童手当を受給していること
- ②申請者、配偶者ともに育児休業給付金などを受給していないこと
- ③下記の対象児童と同居し、在宅で育児していること

## 対象児童(①～③の全てに該当する人)

- ①市内に住所を有していること
- ②生後8週を経過し、満3歳未満であること
- ③保育所などに入所していないこと

## 支援金額

対象児童一人当たり 月額2万円

詳細は  
こちら



## 問い合わせ先

市役所子ども未来課子ども家庭係(内線252)

## 8年度も継続して実施します

## ● ふるさとタクシー助成事業

SDGs GOAL 3 すべての人に健康と福祉を

市では、ふるさと納税を活用して、高齢者や重度の身体障がいなどで移動が困難な人に、タクシー料金の一部を助成しています。

なお、本年度は、1月当たりの交付枚数の見直しを行いました。

## 対象者：①、②のいずれかに該当する人

- ①市内に住所を有する75歳以上の人(令和9年3月31日現在)で、運転免許証を持っていない、または返納した人
- ②市内に住所を有する重度の障がいがある人  
※身体障害(1・2級)、療育(A)、精神障害者保健福祉(1級)手帳所持者

## 申請方法：市役所福祉課福祉係窓口、郵送またはオンラインで申請できます。

※すでにタクシー助成券の交付を受けている人は、手続き不要です。

※8年度中に75歳になる人には、市から申請書を送付しています。助成対象で交付を希望する人は、申請書の提出をお願いします。

## タクシー助成券送付時期：4月上旬

## 助成内容：1枚につき500円分の助成券を下の表のとおり交付します。

お住まいの地域	1月当たりの交付枚数
矢作町(生出、二又、雪沢地区)、横田町、広田町	7枚
小友町	5枚
米崎町、気仙町(長部地区)、下矢作(雪沢地区以外)、竹駒町	3枚
高田町、気仙町(今泉地区)	2枚
障害者手帳所持者	7枚

※1回の乗車で使用できる枚数に制限はありません。

## 申し込み・問い合わせ先

市役所福祉課福祉係(内線214)



オンライン  
申請は  
こちら



## 教えて!

定期  
連載



## その先の笑顔のため、いまできること

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs とは? 自分の子どもや孫たちが暮らす未来に、住みやすい地球(世界)を残すため掲げられた全世界の人が取り組むべき目標

あなたもぜひ  
SDGsに  
取り組んで  
みませんか?

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。「その先の笑顔のため、いまできること」編では、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

SDGs GOAL 12 つくる責任 つかう責任

SDGs GOAL 17 パートナリーシップで 目標を達成しよう

## ● 普段の仕事の内容を教えてください

地域の方々、民泊で訪れた人や小学生などを対象にキャンドルホルダーや牛乳パックを再利用したランタン「夢灯り」などを制作するワークショップを開催しています。完成した作品は、毎年3月11日付近の日程で開催しているイルミネーションイベントで展示しており、温かな灯りを通じて関わった人たちの交流につながっています。

## ● SDGsに関する主な取組内容を教えてください

震災の伝承活動として、光のイベントやワークショップを開催しています。今後も活動を継続し、震災当時の「まち」を少しでも明るくしたいという思いを関わった人たちと紡いでいきたいと考えています。



牛乳パックを使ったランタンづくり教室の様子

## ● これからの陸前高田市をどんなまちにしていきたいですか

地域の横のつながりが広がり、多様な人々が集う場所になってほしいです。そうして、互いの想いを共有し、古くから大切にされてきたお祭りなどの良い文化を継承しながら、新しい感性も共に分かち合えるようになってほしいです。そうした交流の積み重ねが、次世代へと受け継がれ、いつまでも残り続けていくようになればと思っています。

特定非営利活動法人  
ツムグ 代表  
かみほり  
覚張あゆみさん





ユズを  
堪能

### 搾って、染めて。ユズの多彩な魅力を五感で体感 北限のゆずを楽しむ会 2026

SDGs GOAL 8 働きがいも  
経済成長も  
SDGs GOAL 15 陸の豊かさも守ろう

北限のゆずを楽しむ会 2026が、2月28日(土)に市コミュニティホールで開催されました。

「北限のゆず」は、日本最北のユズの産地とされる本市の特産品。会場では、搾汁体験やオイルハンドマッサージ、草木染体験といったユズを活用した多彩な催しが用意されていました。来場者は「搾る・味わう・染める・つくる・癒やされる」といった体験を通じ、ユズの魅力を五感で存分に楽しんでいました。

草木染を体験した佐々木和奏さん(広田小5年)は「初めて草木染めを体験した。きれいにいろいろな模様が出せて良かった」と話しました。



ユズの搾汁を体験する子ども

巣立ち

### 思い出を胸に新たな一歩 市内小中学校で卒業式

SDGs GOAL 4 質の高い教育を  
みんなに  
SDGs GOAL 11 住み続けられる  
まちづくりを



感謝の気持ちを込めた合唱を披露する卒業生たち

3月12日(木)から19日(木)にかけて、市内の小中学校で卒業式が行われました。

横田小学校では3月18日(水)に行われ、佐々木寿子校長は「皆さんには、たくさんのお出迎えが待っています。出迎えを大切に、出逢いに感謝して、しなやかに歩んでください」と式辞を述べました。

令和7年度卒業人数  
小学校(8校)：104人  
中学校(2校)：102人

7人の卒業生たちは、保護者や在校生、多くの来賓に見守られながら、一人一人が卒業証書を受け取り、小学校での思い出を胸に新たな一歩を踏み出しました。

100年の森  
を目指して

### 5月まで開催中！ 植樹会に参加してみませんか ピーカンナッツ植樹会

SDGs GOAL 9 産業と技術革新の  
基盤を作ろう  
SDGs GOAL 15 陸の豊かさも守ろう

3月19日(木)、ピーカンナッツの植樹会が開催されました。植樹会は、午前と午後の2回に分けて開催され、午前中の回には市民ら5人が参加。3月から5月にかけて開催される本植樹会では、期間中に約600本の植樹を目指しています。

参加者は、高田町のサロンドロワイヤルタカタ本店にて、本市におけるピーカンナッツ栽培の歩みについての説明を聴講。その後、同町内のほ場へ移動し、一本一本丁寧に苗木を植え付けていきました。

友人と共に参加した村上順子さん(高田町)は「今日植えた苗木が大きく成長していく姿を、見守っていきいたい」と、苗木の成長に期待を寄せていました。

植樹会のお申し込みはこちら



ピーカンナッツの苗木を植樹する参加者

地域包括支援  
センター発

## 介護お茶のみ話

137



### 介護予防教室 「陽だまりクラブ」 上半期開催地区募集中!

地域包括支援センターでは、年を重ねても、住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、介護予防教室を開催しています。

#### 介護予防教室 「陽だまりクラブ」とは

参加者の社会参加を促し、生きがいがつくり、健康寿命の延伸を目指して、公民館や公営住宅の集会所などの行政区単位で開催している教室です。

#### 対象

市内に在住する概ね65歳以上の

#### 開催内容

健康や食事、介護、認知症についての講話、軽体操やレクリエーション、脳トレなどの実技といった様々なメニューを組み合わせたことができます。チラシ作成や講師との日程調整などは市で行います。

#### 開催時間・回数

1時間/回  
月2回程度(全8回)

### ついでのきっかけづくり

介護予防には人と人とのつながりが大事です。話をしたり、話を聞いてもらったり、同じ時間を共有するだけでも人の心は癒され安心感も生まれます。内容や開催時期などは、地区の状況や要望に応じて調整可能です。興味のある人はお気軽にお問い合わせください。



広田町平畑  
特殊詐欺防止講話



横田町堂の沢  
クリアキャンドル作り

問い合わせ先 地域包括支援センター(内線219)

## 保健だより



530

### 健診の申し込みが 始まります!

#### 健診を受けましょう

みなさんは定期的に健診を受けていますか。生活習慣病は、自覚症状がないまま進行することが多く、気づいたときには治療が必要になっている場合があります。だからこそ、年に一度の健診がとても大切です。

また、日本人の死因上位であるがんも、定期的ながん検診によって早期発見・早期治療が可能になります。

#### 市で実施している 一般健診と対象者

- 特定健診：40歳～74歳までの国民健康保険に加入している人
- 後期高齢者健診：後期高齢者医療制度に加入している人
- 若年者健診：20歳から39歳までの人で、学校や職場で健診を受診する機会がない人
- 胃がん検診：(毎年)胃部X線撮影(バリウム)
- 40歳以上のみ対象  
各種がん検診について

発泡剤とバリウム(造影剤)を飲み、胃の中の粘膜を観察します。

○肺がん検診：(毎年)胸部X線撮影、痰の検査  
肺全体をレントゲン撮影します。痰の検査は対象者のみです。

○大腸がん検診：(毎年)便潜血検査  
検査は2日分の便の表面をこすりとり提出します。

#### 男性のみ対象

○前立腺がん検診：(50歳以上、毎年)血液検査

#### 女性のみ対象

○乳がん検診：(40歳以上・2年に1回)乳房X線撮影  
乳房を片方ずつ板ではさみ撮影します。

○子宮頸がん検診：(20歳以上・2年に1回)子宮頸部細胞診  
ブラシなどで子宮頸部の表面をこすり、採取した細胞を顕微鏡で調べます。

#### 健診の申し込み

4月中に各世帯へ、「各種検診申込書」を送付します。ぜひ、この機会にお申し込みください。

問い合わせ先 市役所保健課  
健康推進係(内線236)

# Information

## 開催します

そつごう薬局・りくカフェ  
コラボ企画  
春の健康測定会と  
みんなでごはん

りくカフェでは、そつごう薬局とコラボして「春の健康測定会とみんなでごはん」を開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

**日時**：4月11日(土)午前11時～午後2時

**場所**：りくカフェ事務所(健康測定会) およびりくカフェ(みんなでごはん)

**内容**：①測定会(コーナー)：体組成・血圧・血管年齢・脳体力・骨の健康度・AGESスコア測定(予約不要) ②薬剤師・管理栄養士との健康相談(コーナー) ③みんなでごはん：先着50名(予約不要) 午前11時30分開店(食500円) ④花苗販売会(大船渡大畑園芸様)

**問い合わせ先**：りくカフェ  
☎0192(22)7311 または ☎080(5572)2992

## 募集します

宮城県立仙台高等技術専門学校  
離職者等再就職訓練

仙台高等技術専門学校では、PC基礎の受講生を募集します。オフィスソフトの操作や活用方法を習得し、パソコン検定資格の取得を目指します。また、ビジネススマナーやコミュニケーション技法などを身につけ、社会人基礎力の向上を目指します。

**期間**：5月8日(金)～8月7日(金)  
**時間**：午前9時～午後4時  
**場所**：シグマカレッジ気仙沼(気仙沼市魚市場北棟2階)

**対象**：求職中の人  
**定員**：15名

**申込方法**：最寄りのハローワークで相談の上、所定の入学願書に必要事項を記入し、相談窓口へ提出

**申込期限**：4月20日(月)午後5時  
**選考日**：4月24日(金)※面接試験  
**費用**：無料※テキスト代などは自己負担

**問い合わせ先**：仙台高等技術専門学校 ☎022(258)1151

## お知らせ

**斎苑改修工事に伴い火葬場を休場します**

陸前高田斎苑は次の期間、施設を休場します。休場に伴い、火葬場を休場します。休場に伴い、火葬場を休場します。休場に伴い、火葬場を休場します。

**お問い合わせ先**：岩手大学理工学部まちづくりリーダー育成プログラム事務局 ☎019(621)6447 メール [saisac@water-u.ac.jp](mailto:saisac@water-u.ac.jp)

## 慶 弔

(令和8年2月16日～3月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載  
※氏名は通常字体で掲載

### おめでた ( )は保護者・字名

**女の子**  
気仙 菅原 緋彩 (皓大・愛宕下)

伊賀 トモ子 (92歳・月山)  
高田 佐々木 幸助 (84歳・栃ヶ沢)  
村上 實 (88歳・大隅)

### お幸せに ( )は字名

高田 長谷川裕真・畠山七星 (鳴石)  
米崎 戸刺夢希・藤田凜 (川内)

河野 辰子 (98歳・中田)  
池田 里志 (93歳・荒沢)  
米崎 千葉 一成 (91歳・佐野)  
熊谷 リツ子 (89歳・野沢)  
金野 アサ子 (87歳・西の沢)  
鳥畑 ヨシノ (90歳・野沢)

### お悔やみ ( )は年齢・字名

横田 村上 英悦 (95歳・久連坪)  
多田 和子 (59歳・金成)  
竹駒 菅野 薫子 (98歳・相川)  
佐々木 正信 (91歳・大畑)  
後藤 次子 (96歳・下壺)  
気仙 菅野 るり子 (71歳・町裏)

小泉 順一 (82歳・糠塚沢)  
菅原 テル (97歳・川西)  
吉田 環 (87歳・道の上)  
金野 ウメ子 (93歳・和野)  
広田 假谷 美恵子 (88歳・平畑)  
菅野 昭子 (83歳・根岬)  
齋藤 篤志 (85歳・長洞)

## 数字で見る陸前高田市

(令和8年2月28日現在)

### 市内の火災救急活動 ( )は1月からの累計

- 建物 0件 ( 0件)
- 林野・その他 0件 ( 0件)
- 出動件数 83件 ( 164件)
- 搬送人員 82人 ( 162人)

### 市の人口(住民登録人口) ( )は前月比 出生・死亡数は2月分

- 男性 8,066人 ( - 7人)
- 女性 8,680人 ( - 16人)
- 計 16,746人 ( - 23人)
- (出生4人 死亡31人)
- 世帯数7,534 世帯(+3世帯)

### 市内の交通事故 ( )は1月からの累計

- 人身事故 1件 ( 3件)
- 物損事故 23件 ( 43件)
- 負傷者 1人 ( 3人)
- 死亡者 0人 ( 0人)
- 飲酒運転 0件 ( 1件)

## 国の平和と安全を守る 陸海空自衛官候補生募集

自衛隊岩手地方協力本部では、自衛官候補生などを募集しています。詳細は表のとおりです。



募集種目	受付期間	試験日		応募資格
		筆記試験	口述・身体検査	
一般曹候補生(陸・海・空)	受付中～5月7日(木)	5月16日(土)～5月20日(水)のうち、指定する1日 (WEB試験)	5月21日(木)～5月24日(日)のうち、指定する1日	令和9年4月1日現在で18歳以上33歳未満の人(高校生を除く)
任期制自衛官(陸・海・空)			5月28日(木)～5月31日(日)のうち、指定する1日	
幹部候補曹(陸・海・空)	4月22日(水)～6月5日(金)	6月13日(土) (岩手県産業会館 および盛岡合同庁舎)	一次試験合格者へのみ後日通知	令和9年4月1日現在で20歳以上33歳未満の人

※1 WEB試験の内容は、学科・適性検査・作文(スマホ、PC、タブレット使用)  
※2 口述試験・身体検査の会場は岩手県産業会館(盛岡市)および岩手駐屯地(滝沢市)

問い合わせ先 自衛隊釜石地域事務所 ☎0193(23)7854

# すき昆布の煮物

[1人分]  
エネルギー...137kcal  
食塩相当量...1.6g

ミネラル豊富な海の恵みを、毎日の食卓に

今月のおすすめレシピ



## 材料 (4人分)

- |                        |   |                    |
|------------------------|---|--------------------|
| すき昆布または昆布 ..... 100g   | A | 椎茸の戻し汁 ..... 100ml |
| 糸こんにゃく ..... 100g      |   | 酒 ..... 大さじ2       |
| 干し椎茸 ..... 2枚 (2g)     |   | 砂糖 ..... 大さじ2      |
| 油揚げ ..... 1/2枚 (15g)   |   | しょうゆ ..... 大さじ2    |
| 高野豆腐 ..... 1個 (15g)    |   | サラダ油 ..... 大さじ2    |
| にんじん ..... 小1/4本 (15g) |   |                    |

## 作り方

- 1 干し椎茸と高野豆腐は水で戻す。
- 2 干し椎茸と油揚げは薄切り、高野豆腐とにんじんは拍子切り、すき昆布はザク切りにする。糸こんにゃくはザク切りにして湯通しする。
- 3 鍋でサラダ油を熱し、糸こんにゃくを炒める。続いて、椎茸、にんじん、すき昆布の順に炒める。
- 4 ③にAの調味料を加え、全体を混ぜ合わせる。油揚げと高野豆腐を加え、時々鍋をかき混ぜながら、7～8分ほど煮汁がなくなるまで煮る。

乾燥したすき昆布を使用する場合は、水で戻すと約3倍に膨らむため、乾燥状態で約30g用意します。

「すき昆布」とは、三陸沿岸でとれた若い昆布をボイルして細くカットし、板状にして乾燥させたものです。春には新物の生すき昆布が流通するようになり、旬の食材としても扱われるようになってきています。(参考：農林水産省HP)

※レシピは陸前高田の郷土料理レシピ集「たがだのうんめえもの」より掲載しています。

問い合わせ先

市役所保健課健康推進係(内線 235)



# 主役は君だ

## TAKATA-UI5

※UI5とは...15歳以下の子どものことを意味します

このコーナーでは日ごろ、大会などでの好成績を目指し市内で練習に励んでいる子ども達を紹介します。



チーム名(学校名)

米崎町スポーツ協会 バドミントン部Jr.

種目 バドミントン

団員9人

監督 鈴木 求 さん

コーチ 小松 浩隆 さん

チームスローガン Enjoyうきゅう羽球! Never Give Up!!

## チームメンバーからのコメント

気仙小学校  
ふじわら はる  
藤原 晴 さん  
(6年)



メンバー一人一人の「やってみたい!」があつまってスタートしたバドミントン部です。指導者の皆さんと一緒に明るく楽しく、ときには厳しく、日々の練習に励んでいます。羽球入魂!

